

### 1. 近畿圏の将来像と高速道路を取り巻く環境

#### (1) 近畿圏の役割・機能と現状

- ・政治、経済、文化や国際交流の中心的役割／産業、研究機能、観光資源等が集積
- ・アジアのゲートウェイとしての役割(経済、観光)／交通の大動脈と拠点が集中(3空港、阪神港等)
- ・都市圏として潜在的に高いポテンシャルを有するが、慢性的な渋滞等により、活かし切れていない

#### (2) 近畿圏の将来像とその戦略

- ・圏内外のネットワーク機能の強化／「スーパー・メカリージョン」の形成／インバウンドの受け入れ体制の整備

#### (3) 近畿圏において高速道路に求められるもの

- ・必要なネットワークの充実と賢く使う／日本海側との連携強化／空港・港湾等との連携強化

### 2. 近畿圏の高速道路を賢く使うための料金体系

#### (1) 現行の料金体系の課題

- ・整備の経緯の違い等から路線毎に料金水準等が異なる(均一料金区間と対距離料金区間の混在)
- ・管理主体として高速道路会社と地方道路公社等が混在し、管理面で非効率などの課題が発生
- ・都心部への流入交通のルート選択に偏りが発生し、特定の箇所に過度な交通集中
- ・賢く使うための前提となるネットワーク整備にあたり、現在料金水準では追加的な整備財源が捻出困難

#### (2) 今後の料金体系のあり方

##### <基本的な考え方>

料金の賢い3原則(高速道路を賢く使う上で共通の理念)

利用度合いに応じた公平な料金体系

－対距離制を基本とした料金

管理主体を超えたシンプルでシームレスな料金体系

－管理主体間の継ぎ目を感じない料金

交通流動の最適化のための戦略的な料金体系

－効率的・柔軟な利用を実現する戦略料金

特に、近畿圏は「必要なネットワークの充実と合理的な料金体系の整理との両立」、「管理主体の整理」に特段の対応が必要

##### <実現に向けた取組>

#### ① 料金体系の整理・統一

- ・料金水準や車種区分について、対距離制を基本として統一
- ・具体の料金水準については、大都市近郊区間における現行の水準を参考に、近畿固有の課題として、ネットワークの充実に必要な財源確保の観点で踏まえ検討
- ・整備に必要な財源確保のため、利用者に追加的な一定の料金負担を求めるなど一層の受益者負担の考え方を反映することが有効
- ・追加的な料金負担をできるだけ軽減する観点から、合理的な様々な工夫をすることが必要(出資金償還後送り／料金徴収期限までの追加的な料金負担分活用等)

#### ② 管理主体の統一も含めた継ぎ目のない料金の実現

- ・地方道路公社等の管理区間は、合理的・効率的な管理のため、会社での一元的な管理を検討
- ・大阪都心部等への分散流入を図るため、経路によらない同一料金の導入

#### ③ 戦略的な料金体系

- ・都心流入等について、ネットワークの形成を踏まえた、混雑状況に応じた料金施策の導入

#### (3) 料金体系の確立にあたっての留意事項

- ・ネットワーク整備等の進展に合わせて、料金体系の確立に向けたロードマップを明確化
- ・ネットワーク整備等の進展に合わせて、激変緩和措置も講じながら段階的に導入

### 3. 今後の高速道路の検討課題

#### ○利用者視点での整理

(中京圏の料金体系／有料・無料の整理／トラック輸送の生産性向上／他の交通との連携／訪日旅行者の環境整備／ピンポイント対策等)

○維持管理・更新

○高速道路の安全対策

(暫定2車線／逆走防止)

○ETCの普及促進・義務化等